

## 実質単年度収支の推移

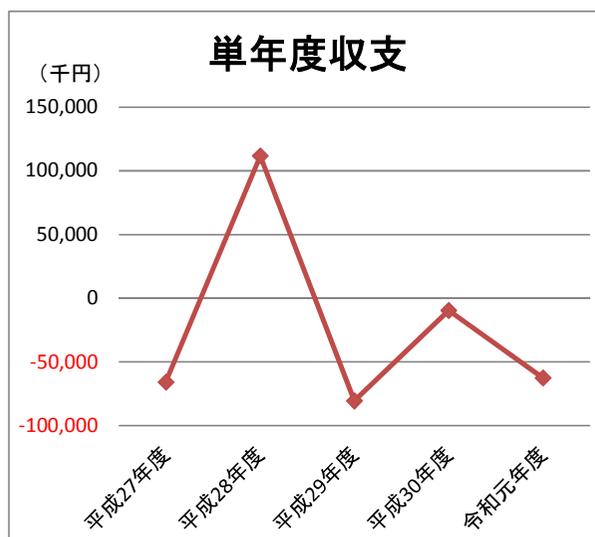
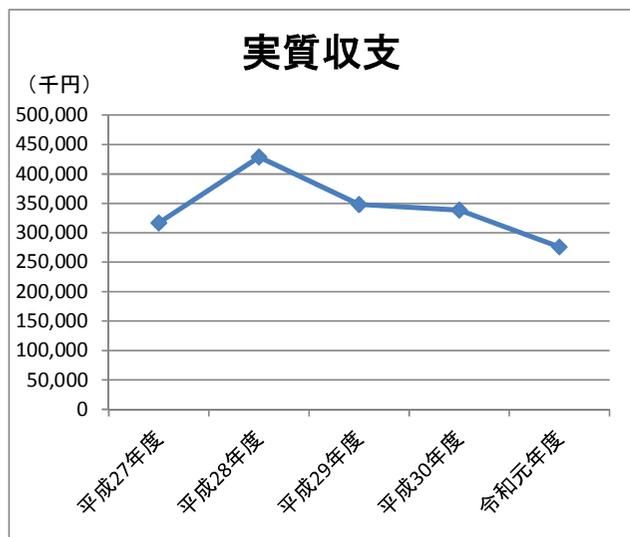
実質単年度収支は、単年度収支から実質的な黒字要素(財政調整基金積立金、地方債繰上償還額)や赤字要素(財政調整基金取崩額)を加減したもので、当該年度における実質的な収支を把握するための指標です。

(単位:千円)

年度	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	歳入歳出差引額 (A)-(B) (C)	翌年度に繰り越すべき財源 (D)	実質収支(E) (C)-(D)	単年度収支(F)	積立金(G)	繰上償還金(H)	積立金取崩額(I)	実質単年度収支(J) (F)+(G)+(H)-(I)
令和元年度	14,747,904	14,329,262	418,642	142,798	275,844	△ 62,639	328,390	0	319,509	△ 53,758
平成30年度	15,728,098	15,296,206	431,892	93,409	338,483	△ 9,688	278,362	0	429,562	△ 160,888
平成29年度	14,998,670	14,546,287	452,383	104,212	348,171	△ 80,625	282,916	0	0	202,291
平成28年度	14,143,797	13,565,008	578,789	149,993	428,796	111,767	251,633	0	173,534	189,866
平成27年度	13,066,931	12,678,059	388,872	71,843	317,029	△ 66,005	230,024	0	180,646	△ 16,627

令和元年度は、歳入は、法人市民税の大幅な減、普通交付税も減となり、減収補てん債を11億円発行しましたが、前年度に比べ6.2%の減となりました。歳出は、基金積立金の減や再編保育園・藤井公民館整備事業などの普通建設事業の減により前年度に比べ6.3%の減となりました。

実質単年度収支は、特別交付税の増により財政調整基金の取崩額を抑えることができたため、前年度より赤字額は少なくなりましたが、2年連続の赤字となりました。



【参考】 実質収支 = 歳入歳出差引額 - 翌年度に繰り越すべき財源

単年度収支 = 当年度実質収支 - 前年度実質収支

実質単年度収支 = 単年度収支 + 積立金(財政調整基金) + 繰上償還額 - 基金取崩額(財政調整基金)